

# 競 技 注 意 事 項

## 1 競技について

- (1) 本大会は、2013年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により運営する。
- (2) 競技者招集について
  - a 招集場所は、正面スタンド東側（100mスタート付近）のダックアウト内に置く。
  - b スタートリストはプログラム記載の招集開始時刻1時間前より掲示する。（招集開始時刻までには、招集場所に集合すること。）招集開始時刻より点呼を開始する。  
競技者本人がナンバーの確認を受けること。他の種目に出場している場合は代理人でもよい。
  - c 本人がナンバーカードを競技者係に見せ最終点呼を受ける。棒高跳の競技者は「支柱移動申込用紙」（招集所においてある）を跳躍場の競技役員に提出すること。（招集開始、完了時刻は競技順序に記載の通りである。）
  - d 招集完了時刻に遅れた者はその競技種目に出場できない。
  - e 招集所から競技場所への移動は、係員により誘導する。
  - f 混成競技においては、1日目、2日目の第1種目は招集所で招集を受けること。ただし、2種目目からは混成控室にて点呼（トラックは競技開始の20分前、フィールドは40分前）をとったのち、混成競技係の指示により競技場所へ移動する。
- (3) ナンバーカードについて
  - a 競技者は競技中、胸と背にはっきりと見えるように主催者が用意した2枚のナンバーカードを付けなければならない。跳躍種目の競技者は、胸または背のどちらか一方でもよい。
  - b トラック競技に出場する選手は、大会本部が用意する写真判定用のレーンナンバーカードを右腰やや後方に付ける。
  - c 混成競技最終種目では、総合得点の高い競技者から順番に「1」・「2」・「3」・・・と順位を示すナンバーカードを使用する。混成控室で混成審判長から配布されるものを胸部につける。
- (4) スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき9mm以下とする。また走高跳及びやり投の場合は12mm以下とし、ピンの数は11本以内とする。またスパイクピンの先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。
- (5) 組・走路順および試技順について
  - a トラック競技における予選ならびに決勝のみのトラック競技の走路順およびフィールド競技における試技順はプログラム記載の通りとする。
  - b トラック競技における決勝の走路順は、番組編成員により公正に抽選し、掲示板に貼り出す。
- (6) リレー競技について
  - a オーダーは、予選・決勝とも所定のオーダー用紙に記入し、招集完了時刻の1時間前までに招集場に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。2日目男女の4×400mR予選のオーダー提出に関しては、前日の16:00までに招集所に提出してもよい。当日は7時00分から受付を始める。
  - b リレーに出場するチームは、同一のユニフォームを着用すること。
- (7) 跳躍競技のバーの上げ方について  
下記のとおりとする。ただし、天候等の状況により最初の高さおよびバーの上げ方を変更することもある。1位の決定を要するときは、棒高跳は5cm・走高跳は2cmの上げ下げによって決定する。

|                 |    |        |   |
|-----------------|----|--------|---|
| 走高跳             | 男子 | 1m70練習 | 1m75 1m80 1m85 1m90 1m95 以後3cmずつ上げる                     |
|                 | 女子 | 1m40練習 | 1m45 1m50 1m55 以後3cmずつ上げる                               |
| 混成走高跳<br>(2ピット) | 八種 | 1m60練習 | 1m45 1m50 1m55 1m60 1m65 1m70 1m75 1m80 1m83 以後3cmずつ上げる |
|                 |    | 1m40練習 | (2ピットとも同じ高さから開始する)                                      |
|                 | 七種 | 1m30練習 | 1m15 1m20 1m25 1m30 1m35 1m40 1m45 1m48 以後3cmずつ上げる      |
|                 |    | 1m10練習 | (2ピットとも同じ高さから開始する)                                      |
| 棒高跳             | 男子 | 3m50練習 | 3m60 3m70 3m80 3m90 4m00 4m10 以後も10cmずつ上げる              |
|                 |    | 4m00練習 |   |

※ 三段跳の踏切板は、砂場まで1.2mとする。 ※ 棒高跳の練習はゴムバーを使用する。

## (8) 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。文書でもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器などを競技場内に持ち込むこともできない。

## (9) フィールド競技について

フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳では助走路内）に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは、それぞれの審判員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。

## (10) 競技用具について

競技場備付のものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは、検査の上私物の使用を許可する。  
検査所 棒高跳・・・当該跳躍場

## 2 表彰について

各種目とも8位までの入賞者は成績発表後、表彰を行うので表彰者控所に集合のこと。（競技役員の指示に従うこと）

## 3 応援について

- (1) 競技に支障のあるような応援はしないこと。（特にフィールド競技試技中）
- (2) メインスタンドでの集団応援はしないこと。また、メインスタンド最前列に立っての応援は禁止する。
- (3) メインスタンドでのテント設営を禁止する。バックスタンド・サイドスタンドでテントを設営する場合は、中段から上部に設営すること。
- (4) 横断幕・のぼり旗などの応援布は、メインスタンド最上段およびサイドスタンド・バックスタンドの後方フェンスのみ許可する。
- (5) ホームストレート延長線上での応援は禁止する。

## 4 練習について

- (1) 練習は原則として、本競技場・補助競技場および雨天走路を使用し、事前に連絡した「練習会場使用日程表」に従い行う。
- (2) 投てきの練習は「練習会場使用日程表」に基づき係員の指示に従い、必ず各学校の監督が付添うこと。
- (3) 練習中の事故は、各学校の引率者の責任で対処すること。

## 5 応急処置について

大会期間中の事故については、本競技場医務室にて応急処置のみ行う。

## 6 その他

- (1) 製造メーカーの名称については、規定外のものが見えないようにテープを貼って対処すること。
- (2) トラック種目の衣類運搬については、100m・200m・1500m・3000m・5000m・100mH・110mH・3000mSC・5000mW・4×100mRの第4走者の衣類については、ゴール地点まで運搬します。なお、4×100mRの第1～3走者については、衣類運搬を行いませんので、本人が出走した地点へ戻るようにしてください。
- (3) 本競技場は10月25日（金）12時00分、26日（土）・27日（日）は7時00分以降に競技場を開場する。
- (4) 学校受付は、松本平広域公園陸上競技場正面玄関ロビーにて、10月25日（金）は12時から16時30分まで、26日（土）・27日（日）は7時30分から行う。
- (5) 混成競技者控室は、本競技場1階トレーニング室に設ける。
- (6) 撮影禁止エリア内での撮影は禁止する。